

## 地域別グランドデザインの推進方針について

### 1. 背景

- 公共施設の老朽化や社会保障費の急増など、団体自治としての公共的な課題も避けては通れない状況です。
- 「地域でなければ解決できないこと」「行政だからこそすべきこと」「地域と行政がともに解決すべきこと」をそれぞれの地域ごとに考え、最適解を導き出す必要があります。

### 2. 目的

- 住み慣れた地域で「いつもの暮らし」を守り続けるため、市全域一律一辺倒の公平性に捉われることなく、地域課題を地域ならではの施策で解決します。
- 市民、自治振興会、区・自治会、市民活動団体、民間事業者等、議会及び行政が、対等な立場で対話による合意形成を図り、地域別グランドデザイン（地域の将来展望図；以下：デザイン）を策定、共有します。

### 3. 基本的な考え方

- デザインとは、概ね小学校区単位（自治振興会ごと）における地域課題と行政課題を示すとともに、その解決に向けた方向性について、対話による合意形成が図られたものです。
- デザイン策定が目的ではなく、検討プロセスを通じ地域住民と行政が信頼関係を築き策定した後もデザインの更新と合わせ関係性を継続していくことを目指すものです。
- 自治振興会が策定した「地域づくり計画」と行政がとりまとめた「地域カルテ」をベースとし、市民（地域）、行政、双方の年度ごとの具体的な行動や段取り（ビジョン）、予算をまとめた「アクションプラン」を想定しています。
- ハード施策（公共施設の集約、複合、転用、廃止）とそれらを補完するソフト施策（交通、福祉、移住、空き家、人材育成等）を具体的に示すものです。
- 展望すべき年度は、現役世代が責任を持てる未来であり、高齢化のピークとされている概ね20年後（2040年）とします。
- ※第3次甲賀市総合計画（終期）、公共施設等総合管理計画行動計画（2期終期）、総務省自治体戦略2040構想と連動
- 主は地域（自治振興会）であり、行政はデザイン策定にかかる伴走支援、デザイン策定後、双方の関係は継続するものの地域自らが地域内分権（地域で課題解決）を推進する仕組みとします。

### 4. 対話の進め方

- 次ページ参照

### 5. スケジュール（当初）

- |         |                            |                                                              |
|---------|----------------------------|--------------------------------------------------------------|
| 令和3年12月 | 庁内勉強会                      | <b>ステップ0</b><br><b>ステップ1</b><br><b>ステップ2</b><br><b>ステップ3</b> |
| 令和4年1月  | 検討体制づくり                    |                                                              |
| 4月      | 現実の共有                      |                                                              |
|         | 地域コミュニティ（区・自治会、自治振興会等）のあり方 |                                                              |

- 1 1月～ 地域の困りごとの整理と分析
- 令和5年 4月～ 公共施設の最適化
- 令和6年 3月 地域人口ビジョン、グランドデザイン策定

**ステップ4**  
**ステップ5**  
**ステップ6**

## 対話の進め方

### **ステップ0** 庁内勉強会

庁内の体制づくり、基本となる考え方の共有

- (1) 地域別基礎データの整理
- (2) これからのコミュニティのあり方
- (3) 公共施設の最適化

### **ステップ1** 検討体制づくり

- (1) 委員を自治振興会や区・自治会とともに選考
- (2) 職員の居住地を基本にチーム編成 ※課長職級以上で編成原則変えない。

### **ステップ2** 現実の共有（地域、行政の将来を客観的に共有する勉強会）

- (1) 地域別基礎データ（地域づくり計画、地域カルテ、小地域別人口推計）
- (2) これからのコミュニティのあり方（課題と解決に向けた提案）
- (3) 公共施設の最適化（地域内公共施設の配置、小学校の耐用年数と財政的課等）
- (4) 今後のスケジュール（案）の確認

### **ステップ3** 地域コミュニティ（区・自治会、自治振興会等）のあり方検討

自治振興会を核とし持続可能な住民自治のあり方を行政とともに考える。

- (1) 全住民アンケートの実施（ニーズや課題等の「見える化」）
- (2) 自治振興会と区・自治会の役割分担など
- (3) 地域の「行事」と「会議」と「組織」のたな卸し（統合と廃止）
- (4) 行政から区・自治会への依頼、役職の整理

### **ステップ4** 地域の課題の整理と分析（ワークショップ形式など）

- (1) 地域の課題、困りごとの抽出
- (2) 地域における困りごとや「日常の暮らし」に必要な機能・サービスの集約・確保など、行政だけでなく民間も含めて検討
- (3) 地域の困りごとの優先順位を定め、最も重要な課題を解決するため体制やスケジュールを検討

### **ステップ5** 公共施設の最適化（ワークショップ形式など）

- (1) 各町、各地域内の公共施設状況の共有（耐用年数、利用状況、コスト）
- (2) プログラム検討

### **ステップ6** 地域人口ビジョン、グランドデザイン策定

地域ごとの人口推計をもとに、「これならできる」と思える地域ごとの定住人口増加目標等を示したグランドデザインを策定